

辻村です。

このたびは、「学校図書館大賞」に選んでいただきありがとうございます。

私にとっても、子供の頃から「学校の図書館」は特別な存在で、

そこで出会った本のひとつひとつから得たことの先に、今、この仕事をしているのだろうと思います。

『かがみの孤城』は居場所をなくした子供たちの話ですが、

学生時代、教室に居場所がなくなったと思ったとき、私をいつでも迎え入れてくれたのが図書室でした。

今、同じ思いをしているかもしれない子たちが図書館・図書室に入った時に、

皆さんが選んでくださった「大賞」の思いとともに『かがみの孤城』を通じて  
こころたちと友達になってくれたら、こんなにうれしいことはありません。

ありがとうございました。

これからも『かがみの孤城』を、こころたちを、どうぞよろしく願いいたします。